

一般質問

宇佐美孝二
(榎原未来)

待機児童

問 本市の待機児童の状況は。

答 今年度から私立保育園に受け入れを広げてもらえることができるように、各園から年齢ごとに毎月の入園可能人数の聞き取りを行い、窓口等で待機児童家庭に情報提供するようにしている。私立保育園にも協力いただき、全園で30人程度受け入れ可能と集約しており、円滑に入園につなげていきたい。さらに、公立保育所でもできるだけ入園を増やしており、平成27年9月1日現在の待機児童は82人となっている。

問 市のホームページに、各保育施設の空き状況を掲載できないか。

答 県内において、ホームページ上で情報提供している市はない。しかし、大阪市などの大都市では実施していることから、各私立保育園にも理解と協力をいただき、保護者

の利便性が図れるよう、本市でも実施していきたい。

問 新しい情報が大切だと思いが、毎月更新できるか。

答 毎月更新する予定である。

公営住宅政策

問 平成27年度当初予算には、公営住宅整備基本構想策定業務等委託料約1,300万円が計上されており、ハード、ソフトを含めた住宅の再整備等を検討し、基本構想として策定することだが、この業務を住宅建設関係のコンサルに発注している。予算の執行が目的外使用ではないか。

答 公営住宅整備基本構想は、今回唐突にあらわれたものではない。平成21年に国から出された公営住宅の長寿命化計画の指針に基づき平成23年から10年間にわたる榎原市営住宅等長寿命化計画を策定した。これは公営住宅の長寿命化を図る計画案であるが、その後、入居者の高齢化や建物の老朽化も進む中、居住性、安全性や防災の観点から、今の時代に合った形の市営住宅をいろいろと検討していくという次

のステップがあり、それが平成25年度から26年度の繰り越しで行ってきた公営住宅整備・管理計画である。この計画において、市営住宅を1次から3次までの3段階の判定を行い、用途廃止すべきもの、建てかえするもの、個別改善するものに分類した。その中で建てかえと判定されたものについて、整備基本構想策定を発注して整備方針を定めていく。これらの業務は、ファミリー・マネジメントの一環として、市全体構想のもとに位置づけられている。今回の建てかえに特化した中で、基本構想について、そういったことに手広く携わっている業者に委託して業務を進めていくところである。

問 建てかえに特化することは誰も認識していないのでは。

答 建てかえありきの話ではなく、公営住宅整備・管理計画の中で建てかえと判定されたものについての整備方針を定めるものである。それ以外の用途廃止、個別改善と判定されたものについても、何らかの形で計画を立てていく必要があると考えている。

問 予算特別委員会と決算特

別委員会で説明していることが全然違うのではないか。

答 委員会において、しっかりと説明をしたつもりだが、誤解を招くような表現があったかもしれない。ただ、公営住宅整備・管理計画の中で建てかえと判定されたものに特化して検討していく。

問 公営住宅整備・管理計画策定業務について、歳出の概要には、マネジメントのあり方やストックの活用を具体的な方法の中・長期的な視点に立ち、と書いておきながら、実際には住宅再建のコンサルに業務を委託しているが、これでいいのか。

答 まず決算の表記の仕方は、当然終わった内容であるので、それが主になった記載となる。予算においては、予算要求をする段階で、執行の仕方の概念の書き方となり、表記の仕方により内容に大きな差を来すような捉え方になっていくとの指摘に対しては反省したい。市営住宅のあり方においては、必要な施設かどうか必要戸数はどれだけか。耐用年数が来た建物をどうしていくのか。またバリアフリーの問題をどうしていくのか等々

の問題がある。平成25年度、26年度で取り組んできた管理計画等々の内容について取り組んでいる中で、公営住宅のあり方の内容的なものをもう一度つくり上げなければいけないことから、今回の公営住宅整備基本構想が出てきている。



市営住宅

八木駅南市有地
活用事業

問 ホテルにかかる経費は。

答 97億円で複合施設を建設するが、ホテル部分の経費は約15億円である。

問 15億円について、賃料により20年間で8億円回収でき、残り7億円は回収できな